

# インフルエンザワクチンの予防接種を受けられる方へ

## 1. インフルエンザと合併症

患者さんのせきやくしゃみにより、インフルエンザウイルスが空気中に浮かんでいたり手についたりして、気道に感染します。感染して、1～5日すると、だるくなったり、急に発熱し、のどの痛み、せき、くしゃみが出始めたりしますが、普通は約1週間で治ります。健康な人がインフルエンザにかかった場合は重症化することがまれなため、インフルエンザは危険な疾患として重要視されていませんでした。しかし、近年、インフルエンザの流行時にみられる乳幼児の突然死や脳症の中にインフルエンザウイルスが原因と思われる症例があることや、基礎疾患をもつ小児は合併症を起こしやすく、死亡の原因になることもある重大な感染症であることが分かってきました。

## 2. ワクチンの副反応

ワクチン接種に伴う副反応として、発熱や、注射部位が赤くはれたり、硬くなったりします。発現頻度として発熱は100人に数人位、赤くはれたりするのは10人に1人位です。

## 3. 次の方は接種しないでください

- 1) 明らかに発熱している方（通常は37.5℃をこえる場合）
- 2) 重い急性疾患にかかっている方
- 3) 本剤の成分により、アナフィラキシーを起こしたことがある方
- 4) その他、いつも診てもらっている医師にワクチンは受けない方がいいといわれた方

## 4. 次の方は接種前に医師にご相談ください

- 1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患及び血液疾患などの基礎疾患のある方
- 2) 出生時に未熟児で発育の悪い方
- 3) 発育が悪く、医師・保健師の指導を受けている方
- 4) 前回の予防接種を受けた時、2日以内に発熱、じんましんなどのアレルギーを疑う症状のみられた方
- 5) 薬の投与又は食事（鶏卵、鶏肉など）で発疹が出たり異常をきたしたことがある方
- 6) 過去にけいれんの既往歴のある方
- 7) 過去に免疫状態の異常を指摘されたことがある方
- 8) 気管支喘息のある方

## 5. 接種後は以下の点に注意してください

- 1) 接種後30分間は、急な副反応（じんましん、せき、喘鳴など）が起こることがありますので、医師とすぐに連絡が取れるようにしておきましょう。
- 2) 副反応（発熱、頭痛、けいれんなど）の多くは24時間以内に出現することが知られています。接種後1日は体調に注意しましょう。
- 3) 接種後に接種部位が赤く腫れたり痛んだりする場合がありますが、通常4～5日以内に軽快します。なお、体調に変化があれば速やかに医師の診察を受けてください。
- 4) 接種後の入浴は問題ありませんが、注射部位をこすことはやめましょう。
- 5) 接種当日はいつもの生活をしてください。但し、激しい運動は避けてください。

※「インフルエンザワクチン接種予診票」にご記入の上、医師の診察をお受けください。  
もし、普段と変わったことがあった場合には医師にご相談ください。

接種 予 定 日	第1回目	月	日( )	医 療 機 関 名	〒771-0203 板野郡北島町中村字東開 14-1 徳島健康生活協同組合 健生きたじまクリニック Tel.(088)698-9629
	時間:				
	第2回目	月	日( )		
	時間:				